

わずかに改善の兆し。依然と価格の上昇傾向が見られる。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど令和4年10月～令和4年12月期実績と令和5年1～3月期見通しについての調査結果（回答数86社、回答率86%）をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

全業種のDI値に見る業況判断動向を前期と比較すると、前期の▲24%から▲23%とマイナス幅がわずかに改善した。業種別に見ると、わずかながら改善の兆しを見せる業種が多い中、サービス業のみ▲3%から▲13%と減少した。前回調査では、売上減少と資金繰りの悪化が見られたが、今回調査では改善の兆しが多く見られた。

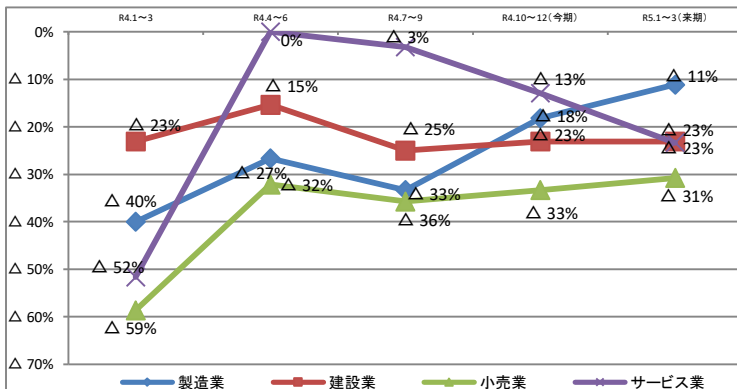
新規設備投資について、今期中に設備投資を実施した企業は全体の18%、来期設備投資を実施予定の企業は11%であった。

経営上の問題点については、前回調査に引き続き、全ての業種で「需要の停滞」、「価格の上昇」が上位に挙げられた。建設業以外の業種では、「ニーズの変化への対応」も上位に挙げられた。

◆業況DI値（今期の状況）

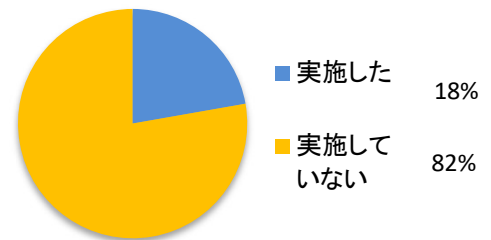
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△ 23%	→	△ 18%	→	△ 15%	→	64%	→	△ 39%	→	△ 3%	→
製造業	△ 18%	→	△ 50%	→	△ 36%	→	100%	→	△ 58%	→	△ 9%	→
建設業	△ 23%	→	△ 23%	→	8%	→	69%	→	△ 46%	→	△ 15%	→
小売業	△ 33%	→	△ 19%	→	△ 36%	→	52%	→	△ 37%	→	4%	→
サービス業	△ 13%	→	3%	→	3%	→	57%	→	△ 27%	→	4%	→

◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）

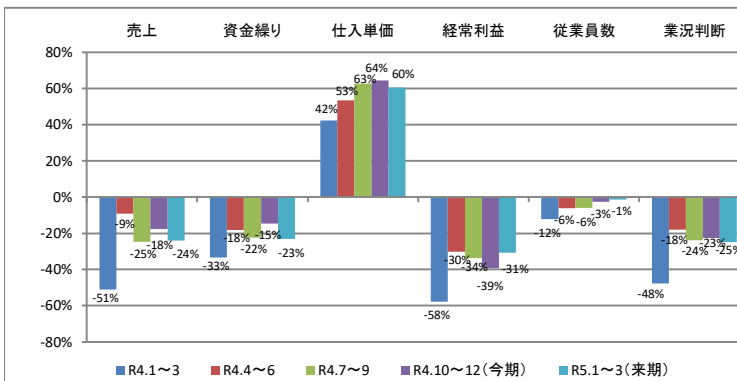


◆新規設備投資（今期実施・来期計画）

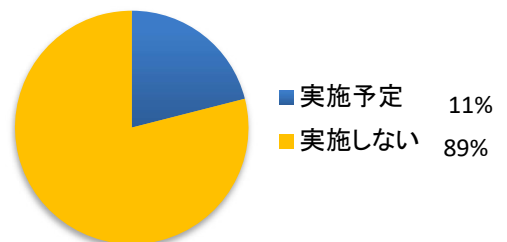
【今期設備投資】



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



【来期設備投資計画】



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	原材料価格の上昇 33.3%	材料価格の上昇 21.2%	仕入単価の上昇 20.0%	利用者ニーズの変化への対応 17.7%
2位	需要の停滞 13.3%	民間需要の停滞 15.2%	消費者ニーズの変化への対応 17.1%	材料等仕入単価の上昇 15.2%
3位	製品ニーズの変化への対応 13.3%	官公需要の停滞 15.2%	需要の停滞 15.7%	需要の停滞 11.4%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。